

## はじめに

食は、私たちが生きていくために欠かせないものであり、生涯にわたって健全な心身を培い、豊かな人間性を育むための基礎となるものです。

本市では、平成21年に「高知市食育推進計画」を策定した後、5年ごとに改定を行い、食育の推進に取り組んでまいりました。第3次計画の期間は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、食に関する活動が制限された中ではありましたが、一定取組の成果はありました。特に中学生においては、市立中学校全校で給食を開始したこともあり、食に関する意識の向上がみられています。

一方、朝食欠食や栄養の偏り、経済格差が栄養バランスに影響を及ぼす等の課題もあります。また、共食は人のつながりをつくり、基本的な食習慣を整える上で重要ですが、生活の多様化により、食事の大切さや楽しさ、食文化等を地域で知る機会も少なくなってきています。

高知市には豊かな自然とその自然に育まれた新鮮な食材、高知ならではの食文化があります。このたび策定いたしました「第4次高知市食育推進計画」では、従前の計画の基本理念を引き継ぎ、「豊かな食 おいしくいただき みんなあ こじゃんと元気」をスローガンに掲げ、市民が輝くまちの実現に向け、取組を進めてまいります。

計画の推進にあたっては、現在の食生活が将来の健康に影響することを意識し、人の生涯を経時的に捉えた健康づくりに取り組むとともに、地域の関係者が連携し、子どもや保護者、若い世代に対して取組を行い、高知の豊かな食・食文化を次世代へつなげてまいります。

結びに、本計画の策定にあたりご尽力いただきました高知市食育推進会議の委員の皆様をはじめ、ご協力いただきました市民の皆様ならびに関係者の皆様に、心からお礼申し上げます。

令和6年3月

高知市長 桑名 龍吾